令和４年度事業報告

１．館長および博物館運営委員

館長　石山　五郎（元年寄武蔵川・元財団法人日本相撲協会理事長）

３月30日、公益財団法人日本相撲協会の年寄職務分掌により、博物館運営委員には下記の４名が就任した。

博物館運営委員　吉永　一美　（年寄陸奥・公益財団法人日本相撲協会理事）
博物館運営委員　青木　康　　（年寄芝田山・公益財団法人日本相撲協会理事）
博物館運営委員　坂爪　忠明　（年寄花籠・公益財団法人日本相撲協会理事）
博物館運営委員　尾曽　武人　（年寄藤島・公益財団法人日本相撲協会副理事）

2．展示

（1）展示の概要

新型コロナウイルス感染症の拡大により令和２年（2020）２月29日から長期間に渡って臨時休館していたが、令和４年１月９日より開館した。感染状況を鑑み、12時30分から16時の短縮開館とした。

＊特別展「69代横綱　白鵬翔」

会期：前期１月９日～２月５日　　後期５月８日～６月24日

幕内優勝45回・全勝優勝16回・通算1,187勝・幕内1,093勝、63連勝など、数々の大記録を打ち立てた69代横綱・白鵬翔が令和３年（2021）九月場所後に現役を引退した。

昭和60年（1985）にモンゴル・ウランバートルで生まれたスポーツ万能の少年は、いつか日本の大相撲をやってみたいと夢見るようになる。そして平成12年（2000）に相撲研修生として来日、翌13年に宮城野部屋から初土俵を踏んだ。入門後は四股・てっぽうなどの基本を大切にし、細かった体を鍛え上げ、番付を一気に駆け上がった。平成19年（2007）５月場所後に69代横綱に昇進。以後、14年間も大相撲の第一人者として活躍した姿は記憶に新しいところである。

特別展では会期を二期にわけ、白鵬本人から出品された化粧廻し・横綱の綱・賜盃のレプリカなど、前期は100点、後期は110点を展示した。

後期の五月場所開催中には本人の発案による「座ってみよう！ 場所座布団」体験コーナーを設けた。白鵬が本場所の取組前に実際使用した場所座布団を多くの来館者が体感した。





前期：特別展告知





後期：特別展告知



展示室の様子



着用した豪華衣装



展示室の様子



体験コーナー
「座ってみよう！ 場所座布団」

＊「本場所から本場所まで」

会期：７月11日～８月10日

大相撲の本場所は、東京・大阪・名古屋・福岡の４都市で年６場所が開催されている。本展覧会では、本場所と本場所の間の大相撲に関わる人々、行事に注目した。

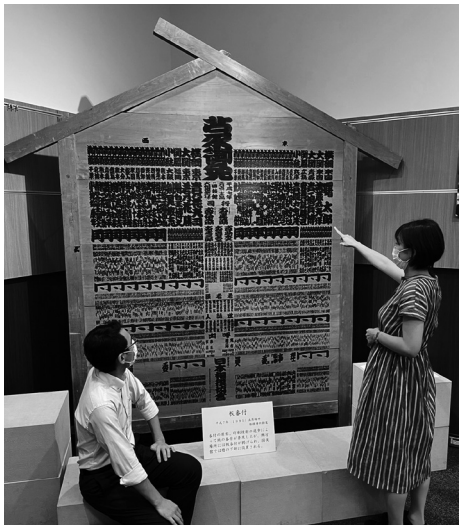
番付表の基となる全力士の勝敗を記録した成績表、呼出しによる土俵構築の様子、床山の髪結い道具、横綱の綱打ち工程、初日前日の土俵祭や触太鼓などの様子を76点の資料から紹介した。



横綱の「綱打ち」の様子



「土俵祭」の様子
本場所初日前日に行われる儀式



本場所会場前に設置する板番付



呼出しによる土俵築の道具一式

＊特別展「71代横綱　鶴竜力三郎」

会期：９月11日～10月３日

鶴竜力三郎は、平成13年（2001）十一月に初土俵を踏み、もろ差し、下手投げなどを武器に番付を駆け上がり、平成26年（2014）三月場所後、71代横綱に昇進した。令和３年（2021）三月に引退するまで、組んでよし、離れてよしの相撲ぶりで活躍したのは記憶に新しい。

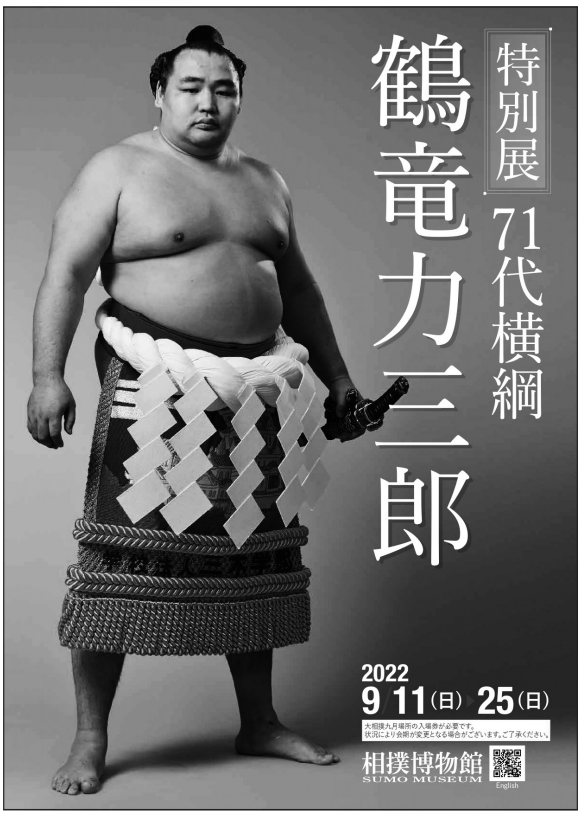
本展覧会では、鶴竜本人から出品された化粧廻しや横綱、土俵入りで使用した太刀や写真パネルなど117点の資料から土俵人生を振り返った。



等身大パネルを設置



化粧廻し三つ揃い





特別展告知

＊特別展「白鵬・鶴竜・稀勢の里　三横綱」

会期：10月６日・７日

大相撲ファン感謝祭が行われた２日間、69代横綱白鵬翔・71代横綱鶴竜力三郎・72代横綱稀勢の里寛の三横綱特別展を開催した。

横綱の綱、化粧廻し、太刀、幼少期の写真、相撲教習所時代の習字作品など75点の資料で紹介した。

展示室入口に「デジタルサイネージ」を設置・公開した。相撲の文化・相撲史略年表・歴代横綱のカテゴリーで構成されており、横綱の「綱」や行司装束などは３Ｄ画像で楽むことができる。



左から鶴竜、白鵬、稀勢の里の「染め抜き」



三横綱が来館（10月６日）



鶴竜力三郎使用の横綱



デジタルサイネージ設置

＊「しこ名展」

会期：11月１日～ 12月15日

力士のしこ名に焦点をあてる展覧会を開催した。「柏戸」や「朝潮」など、江戸時代や明治時代から受け継がれてきた伝統のあるしこ名を名乗った力士を中心に構成し、明治期、おもに大阪相撲を中心に流行した珍名といわれるしこ名のいくつかも紹介した。現在の幕内力士を例に、しこ名の由来やつけ方を解説した。化粧廻しや番付など、85点を展示した。



46代横綱・朝潮太郎使用の化粧廻し三つ揃い

「朝潮」の名は高砂部屋で代々受け継がれている。化粧廻しの原画は日本画家・松林桂月（1875～ 1963）による。龍と波が描かれた水墨画の濃淡が刺繍によって巧みに表現されている。



大関・増位山太志郎使用の化粧廻し

1970年代を中心に活躍。親子二代で「増位山」を名乗り話題となった。



雷電為右衛門コーナー

天下無双といわれた江戸時代の大関・雷電の道中羽織を試着できるコーナーを設けた。

＊東京本場所写真パネル展

国技館で開催された大相撲本場所の期間中、歴代横綱73名を写真パネルで紹介した。

会期　一月場所　１月９日（日）～ 23日（日）

五月場所　５月８日（日）～ 22日（日）

九月場所　９月11日（日）～ 25日（日）

（2）資料の貸出

貸出先	展覧会名	開催期間	主な貸出資料	点数
横綱柏戸記念館	常設展	1月1日～3月31日	柏戸剛使用の雲龍型横綱	6
鹿角市錦木塚展示室	錦木・狭布ノ里展	4月1日～9月30日	錦木塚右衛門（勝川春好画）画像データ提供	5
光映工芸株式会社 会場：京都文化博物館	金彩友禅 和田光正の世界 ※	3月30日～4月3日	北勝海信芳使用の化粧廻し	2
小平市平櫛田中彫刻美術館	生誕150年　平櫛田中展	9月17日～11月27日	国技（平櫛田中作）	2
報知新聞社 会場：国技館大広間前スペース	報知新聞社新社屋披露パーティー ※	9月30日	北の湖敏満使用の雲龍型横綱	4
墨田区立ひきふね図書館	しられざる相撲の世界展 ※	12月8日～12月27日	床山用道具一式	12
TOKYO UNITE 会場：国技館西支度部屋	TOKYO UNITE キッズスポーツフェスin 両国国技館 ※	12月20日	鶴竜力三郎使用の横綱	28

※展示設営のため博物館職員を派遣（4会場）
貸出先7カ所　貸与資料点数合計59点

TOKYO UNITE キッズスポーツフェスin両国国技館

12月20日に東京をホームタウンとする14のスポーツチーム・団体がともに取り組むTOKYO UNITEの小学生向けマルチスポーツ体験イベント「キッズスポーツフェスin両国国技館」が開催された。国技館内の支度部屋に71代横綱鶴竜力三郎の化粧廻し・横綱や行司・呼出しの装束、床山の道具などを展示し、稽古まわしや力士用のパンツ・ジーンズに触って体感できるコーナーを設けた。



71代横綱鶴竜力三郎の
化粧廻し・横綱・明荷の展示



体感「大きさ・くらべコーナー」
力士用のパンツ・ジーンズ

地元中学生の職場体験

11月９日、職場体験として「両国高等学校附属中学校」の生徒３人を受け入れた。江戸時代の板番付の手入れや保管、館内でのお客様対応、国技館内の視察などを行った。



板番付の手入れ



館内視察・インタビュールームにて

（３）本場所企画

来館者サービスの一環として、１月・５月・９月の東京本場所開催日に、展示室にて宮城野（白鵬）・鶴竜をはじめとする親方をゲストに迎えトークイベントを開催した。１月は引退相撲をひかえた親方により「引退力士トークイベント」と題したが、５月からは「親方トークイベント」として、多くの親方が出演した。新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、参加者の上限は30名程度とした。親方の声が生で聞ける数少ない機会のため大好評だった。今後も継続して開催予定である。





3．資料収集と保存

（1）寄贈資料

（受領日順、敬称略）

受領日	資料名	点数	寄贈者名
1月4日	令和4年一月場所番付表	5	日本相撲協会
1月9日	ABEMA大相撲LIVEポスター　2022年初場所	2	日本相撲協会
1月15日	嘉風引退相撲ポスター	2	個人
1月15日	豪栄道引退相撲ポスター	1	個人
1月16日	通鑑　No.88　行司見習殿	1	個人
1月23日	栃煌山引退相撲ポスター	1	個人
1月23日	令和4年一月場所取組表	1	日本相撲協会
1月24日	令和4年一月場所星取表	5	日本相撲協会
1月29日	豪栄道引退相撲取組表	3	豪栄道引退相撲事務局
1月30日	栃煌山引退相撲取組表	3	栃煌山引退相撲事務局
2月4日	嘉風引退相撲取組表	3	嘉風引退相撲事務局
2月4日	第46回大相撲トーナメント取組表	3	日本大相撲トーナメント事務局
2月14日	令和4年三月場所ポスター	6	日本相撲協会
2月28日	令和4年三月場所番付表	5	日本相撲協会
2月28日	常陸山（出羽海）谷右衛門使用の明荷	2	個人
3月1日	安美錦引退相撲ポスター	2	個人
4月4日	令和4年三月場所取組表	1	日本相撲協会
4月25日	令和4年五月場所番付表	5	日本相撲協会
4月25日	令和4年五月場所ポスター	3	日本相撲協会
4月26日	絵はがき　美しき大相撲シリーズ　明生力（サイン入り）	3	日本相撲協会
5月6日	琴奨菊引退相撲ポスター	2	個人
5月9日	豊ノ島引退相撲ポスター	1	個人
5月9日	栃丸正典の手形	2	個人
5月16日	玉錦三右衛門（長谷川利行画）	1	個人
5月22日	令和4年五月場所取組表	1	日本相撲協会
5月23日	令和4年三月場所星取表	5	日本相撲協会
5月23日	令和4年五月場所星取表	5	日本相撲協会
5月28日	豊ノ島引退相撲取組表	3	豊ノ島引退相撲事務局
5月28日	安美錦引退相撲取組表	3	安美錦引退相撲事務局
6月16日	野見宿禰神社　御札・勝守（ともに紙札）	2	野見宿禰神社
6月27日	令和4年七月場所番付表	5	日本相撲協会
6月28日	美いくさの華	1	個人
7月11日	鳴門海一行　殊勲賞トロフィー（昭和31年五月場所）	1	個人
7月11日	鳴門海一行　東京新聞社殊勲賞楯（昭和31年五月場所）	1	個人

７月11日	鳴門海一行ブロンズ像	1	個人
７月11日	鳴門海一行　十枚目優勝表彰状（昭和24年春場所）	1	個人
７月11日	鳴門海一行　技能賞表彰状（昭和28年春場所）	1	個人
７月11日	鳴門海一行　殊勲賞表彰状（昭和31年五月場所）	1	個人
７月11日	鳴門海一行　スポーツ功労者表彰状（平成５年）	1	個人
７月11日	鳴門海一行　慶應義塾体育会相撲部感謝状（平成11年）	1	個人
７月11日	鳴門海一行　永年職務者精励表彰状（昭和60年）	1	個人
７月11日	鳴門海一行　相撲道発展の尽力に対する記念額（平成２年）	1	個人
７月11日	鳴門海一行　スポーツ功労者表彰の新聞記事	1	個人
７月11日	年寄竹縄歓迎会の寄書（昭和50年）	1	個人
７月11日	写真パネル「土俵上の鳴門海」「稽古場の栃錦と鳴門海」「明治神宮での栃錦横綱土俵入り」「解説をする竹縄」「ゴルフをする竹縄」	5	個人
７月11日	写真「栃錦還暦土俵入り」	1	個人
７月29日	令和４年七月場所星取表	5	日本相撲協会
８月１日	37代木村庄之助の経歴	1	個人
８月２日	場内放送係使用の力士帳	1	日本相撲協会
８月３日	令和４年七月場所取組表	1	日本相撲協会
８月５日	令和４年九月場所ポスター	3	日本相撲協会
８月29日	令和４年九月場所番付表	5	日本相撲協会
９月８日	鶴竜力三郎書「忍耐」「努力」「技」「諦心」	4	個人
９月12日	栃武蔵陽太の手形	2	個人
９月17日	稀勢の里寛書「空」	1	個人
９月21日	白鵬引退相撲ポスター	1	個人
９月25日	慶天海孔晴の手形	2	個人
９月25日	千代の海明太郎の手形	2	個人
９月25日	紫雷匠の手形	2	個人
９月25日	千代栄栄太の手形	2	個人
９月25日	北の若大輔の手形	2	個人
９月25日	東白龍雅士の手形	2	個人
９月25日	豪ノ山登輝の手形	2	個人
９月25日	錦富士隆聖の手形	2	個人
９月25日	島津海空の手形	2	個人
９月25日	白鷹山亨将の手形	2	個人
９月25日	王輝嘉助の手形	2	個人
９月25日	琴裕将由拡の手形	2	個人
９月25日	貴健斗輝虎の手形	2	個人
９月25日	金峰山晴樹の手形	2	個人
９月25日	熱海富士朔太郎の手形	2	個人
９月25日	北青鵬治の手形	2	個人
９月25日	欧勝馬出喜の手形	2	個人
９月25日	荒篤山太郎の手形	2	個人

９月26日	令和４年九月場所星取表	5	日本相撲協会
９月26日	令和４年九月場所取組表	1	日本相撲協会
９月28日	明治神宮例祭奉祝　奉納第七十九回全日本力士選士権大会取組表	3	日本相撲協会
９月30日	琴奨菊引退相撲取組表	3	琴奨菊引退相撲事務局
９月30日	蒼国来引退相撲取組表	3	蒼国来引退相撲事務局
10月１日	水戸龍聖之の手形	2	個人
10月１日	武将山虎太郎の手形	2	個人
10月８日	歴代横綱・大関、歴代理事長一覧	1	日本相撲協会
10月８日	大入袋　大相撲ファン感謝祭二〇二二　二日目	1	日本相撲協会
10月８日	鏡桜南二の手形	1	個人
10月18日	令和４年十一月場所ポスター	6	日本相撲協会
10月27日	蒼国来引退相撲ポスター	3	個人
10月27日	相撲甚句　大相撲ファン感謝祭（41代式守伊之助書・画）	1	日本相撲協会
10月31日	令和４年十一月場所番付表	5	日本相撲協会
10月31日	嘉永元年三月板番付	1	個人
11月１日	琴奨菊引退相撲ポスター	2	個人
11月１日	令和５年大相撲ポスターカレンダー	6	日本相撲協会
11月14日	令和５年大相撲カレンダー	2	日本相撲協会
11月28日	令和４年十一月場所ポスター	2	日本相撲協会
11月30日	令和５年一月場所ポスター	3	日本相撲協会
12月２日	令和４年十一月場所星取表	5	日本相撲協会
12月２日	令和４年十一月場所取組表	1	日本相撲協会
12月13日	令和５年三月場所ポスター	3	日本相撲協会
12月22日	連続テレビ小説「ひらり」ポスター	2	日本相撲協会
12月26日	白鵬引退相撲ポスター	2	個人

寄贈者　50組（個人・団体）寄贈資料点数合計　232点

（２）寄贈書籍・雑誌・パンフレット・視聴覚資料

（受領日順、敬称略）

受領日	編著者名、書籍などの名称（発行者、発行年）	点数	寄贈者名
１月４日	『相撲』１月号（ベースボール・マガジン社、2021年）	3	ベースボール・マガジン社
１月４日	『サンデー毎日増刊１月15日号　NHK G-Media大相撲中継』（毎日新聞出版、2022年）	3	NHKグローバルメディアサービス
１月４日	『スポーツ報知大相撲ジャーナル』1月号（アプリスタイル、2021年）	3	アプリスタイル
１月４日	『相撲三昧』第８号（相撲道研究会、2022年）	1	個人
１月５日	『高砂部屋新聞』第３号（日刊スポーツ新聞社、2022年１月１日）	1	個人
１月７日	『大相撲一月場所』（日本相撲協会、2022年）	3	日本相撲協会
１月13日	杉浦弘『壬午山ノート』⑥（2022年）	1	個人
１月13日	『しんぶん赤旗日曜版』（日本共産党中央委員会、2022年１月２日・９日）	1	赤旗編集局日曜版編集部
１月23日	白鵬翔監修・大庭大業『白鵬の脳内理論　９年密着のトレーナーが明かす「超一流の流儀」』（ベースボール・マガジン社、2021年）	3	個人

1月26日	『相撲』２月号（ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
1月26日	『相撲趣味』第193号（相撲趣味の会、2022年）	2	個人
1月31日	「相撲」編集部編『令和四年　大相撲力士名鑑』 （ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
２月１日	『相撲史発掘』第99号（2022年）	1	個人
２月３日	最上重夫『発気揚揚　湘南の「横綱企業」をめざし続けた40年』 （湘南営繕協会、2022年）	1	個人
２月５日	『信濃毎日新聞』号外　御嶽海大関へ （信濃毎日新聞社、2022年１月23日）	2	個人
２月18日	『相撲三昧』第９号（相撲道研究会、2022年）	1	個人
２月22日	DVD『野見宿禰赤名相撲甚句会発足10周年記念大会』（2022年）	1	個人
２月24日	信濃毎日新聞社編『大関御嶽海』（信濃毎日新聞社、2022年）	1	信濃毎日新聞社
２月24日	内館牧子『大相撲の不思議２』（潮出版社、2022年）	1	潮出版社
２月25日	『わんぱく相撲教本　子供たちにスポーツを』（東京青年会議所、1979年）	2	日本相撲協会
２月25日	『わんぱく相撲の手引』（日本相撲協会、1981年）	1	日本相撲協会
２月25日	『わんぱく相撲読本』（大阪青年会議所、1982年）	1	日本相撲協会
２月25日	『わんぱく相撲読本』（大阪青年会議所、1983年）	1	日本相撲協会
２月25日	『わんぱく相撲読本』（大阪青年会議所）	2	日本相撲協会
２月25日	『わんぱく相撲全国大会　第９回東京場所　新国技館落成記念　思い出集』（東京青年会議所、1985年）	2	日本相撲協会
２月25日	『フォト』第32巻第４号（時事画報社、1985年）	1	日本相撲協会
２月25日	『日刊建設通信』（日刊建設通信新社、1985年１月９日）	1	日本相撲協会
２月25日	『TOKYO JC NEWS』第162号 （東京青年会議所広報委員会、1982年７月１日）	1	日本相撲協会
２月25日	『TOKYO JC NEWS』第296号 （東京青年会議所広報渉外委員会、1993年９月１日）	1	日本相撲協会
３月１日	『相撲』３月号（ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
３月２日	『サンデー毎日増刊３月19日号　NHK G-Media大相撲中継』 （毎日新聞出版、2022年）	3	NHKグローバルメディアサービス
３月２日	『スポーツ報知大相撲ジャーナル』２・３月合併号 （アプリスタイル、2022年）	3	アプリスタイル
３月14日	『大相撲三月場所』（日本相撲協会、2022年）	3	日本相撲協会
３月18日	東京都江戸東京博物館　都市歴史研究室編 『東京都江戸東京博物館　調査報告書　第35集　モース研究』 （東京都歴史文化財団・東京都江戸東京博物館、2022年）	1	東京都江戸東京博物館
３月30日	『相撲』４月号（ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
３月30日	『Sports Art 2022』（日本スポーツ芸術協会、2022年）	1	日本スポーツ芸術協会
４月４日	愛媛県観光スポーツ文化部『愛媛人物博物館～愛媛ゆかりの偉人たち～』 （愛媛県生涯学習センター、2022年）	1	愛媛県生涯学習センター
４月11日	砂田ちひろ「なぜ吉田司家と五条家は廃れていったのか」（2022年）	1	個人
４月18日	『福島民報　情報ナビTime』（福島民報社、2022年４月14日）	1	福島民報社
４月25日	『大相撲文化』第５号（日本電子書籍技術普及協会、2022年）	1	個人
４月26日	高埜利彦『日本の伝統文化シリーズ４　相撲』（山川出版社、2022年）	3	山川出版社
４月28日	『相撲』５月号（ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社

4月28日	『サンデー毎日増刊５月21日号　NHK G-Media大相撲中継』 （毎日新聞出版、2022年）	3	NHKグローバルメディアサービス
4月28日	『スポーツ報知大相撲ジャーナル』４・５月合併号 （アプリスタイル、2022年）	3	アプリスタイル
4月28日	『相撲趣味』第194号（相撲趣味の会、2022年）	2	個人
5月６日	『大相撲五月場所』（日本相撲協会、2022年）	3	日本相撲協会
5月23日	DVD『TBS大相撲ドキュメント　白鵬、日本の横綱として』 （TBS、2012年）	1	個人
5月23日	DVD『TBS大相撲ドキュメント　白鵬と大鵬　最後の会話』 （TBS、2013年）	1	個人
5月23日	DVD『TBS大相撲ドキュメント　日本人の知らない白鵬』（TBS､2013年）	1	個人
5月23日	DVD『TBS大相撲ドキュメント　オヤジの背中を追いかけて』 （TBS、2015年）	1	個人
5月23日	DVD『TBS大相撲ドキュメント　白鵬レガシー計画』（TBS、2017年）	1	個人
5月23日	DVD『TBS白鵬密着ドキュメント　我が道を行け』（TBS、2018年）	1	個人
5月23日	DVD『TBS白鵬密着ドキュメント　さらば平成のライバルたち』 （TBS、2019年）	1	個人
5月23日	DVD『TBS白鵬密着ドキュメント　新たな誕生日』（TBS、2020年）	1	個人
5月23日	DVD『TBS白鵬ドキュメント　10年分のエール』（TBS、2021年）	1	個人
5月23日	DVD『TBS白鵬ドキュメント　日下開山最後の十五日』（TBS、2022年）	1	個人
5月24日	『相撲』６月号（ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
5月27日	琴剣淳弥『相撲絵師　琴剣大相撲イラスト集』（ホビージャパン、2021年）	1	ホビージャパン
6月２日	『相撲史発掘』第100号（2022年）	1	個人
6月24日	『スポーツ報知　地域コミュニティー紙』創刊号 （報知新聞社、2022年６月）	3	個人
7月１日	『相撲』７月号（ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
7月１日	『サンデー毎日増刊７月16日号　NHK G-Media大相撲中継』 （毎日新聞出版、2022年）	3	NHKグローバルメディアサービス
7月１日	『スポーツ報知大相撲ジャーナル』６・７月合併号 （アプリスタイル、2022年）	3	アプリスタイル
7月１日	『相撲三昧』第10号（相撲道研究会、2022年）	1	個人
7月１日	『第十二回白鵬杯』（白鵬杯実行委員会、2022年）	1	個人
7月７日	塚田孝編『新　体系日本史８　社会集団史』（山川出版社、2022年）	1	個人
7月19日	島根県立古代出雲歴史博物館編『島根県立古代出雲歴史博物館　開館一五周年記念特別展図録　ハニワの世界へようこそ』 （島根県立古代出雲歴史博物館、2022年）	1	島根県立古代出雲歴史博物館
7月25日	『大相撲名古屋場所』（日本相撲協会、2022年）	3	日本相撲協会
7月26日	『相撲』８月号（ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
8月２日	『東京新聞』サンデー版（中日新聞東京本社、2022年７月31日）	3	中日新聞東京本社
8月31日	『相撲』９月号（ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
8月31日	『サンデー毎日増刊９月17日号　NHK G-Media大相撲中継』 （毎日新聞出版、2022年）	3	NHKグローバルメディアサービス
8月31日	『スポーツ報知大相撲ジャーナル』８・９月合併号 （アプリスタイル、2022年）	3	アプリスタイル
9月１日	『令和４年夏巡業　大相撲立川立飛場所』 （夏巡業大相撲立川立飛場所実行委員会、2022年）	2	夏巡業大相撲立川立飛場所実行委員会

９月１日	『令和４年夏巡業　大相撲古河場所』（大相撲古河実行委員会、2022年）	2	大相撲古河場所実行委員会
９月５日	『大相撲文化』第６号（日本電子書籍技術普及協会、2022年）	1	個人
９月10日	『相撲９月号増刊　平成４年度大相撲力士名鑑改訂版』 （ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
９月11日	『大相撲九月場所』（日本相撲協会、2022年）	3	日本相撲協会
９月17日	朝田武蔵『白鵬伝』（文藝春秋、2018年）	3	個人
９月24日	『相撲三昧』第11号（相撲道研究会、2022年）	1	個人
９月24日	江戸文物研究所編『画集「霞町物語」』（江戸文物研究所、2022年）	1	江戸文物研究所
９月24日	『相撲趣味』第195号（相撲趣味の会、2022年）	2	個人
９月27日	『相撲』10月号（ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
９月29日	藤井明（企画・編集）『生誕150年　平櫛田中展』 （小平市平櫛田中彫刻美術館、2022年）	1	小平市平櫛田中彫刻美術館
９月29日	『スポーツ報知　地域コミュニティー紙』第２号 （報知新聞社、2022年９月）	1	個人
９月30日	『相撲史発掘』第101号（2022年）	1	個人
10月３日	『617th DYNAMIC GLOVE 日本スーパーフェザー級挑戦者決定戦８Ｒ』 （帝拳プロモーション、2022年）	1	個人
10月20日	呼出し永男『名所甚句』（日本相撲甚句会）	1	日本相撲甚句会
10月20日	『唄ってみよう！ 相撲甚句　かんたん練習マニュアルCD付き』 （日本相撲甚句会、2016年）	1	日本相撲甚句会
10月25日	Doreen Simmons Hiromi Nema『Japanese Sumo:Q&A』 （専修大学出版局、2022年）	1	個人
10月26日	『唐戸山神事相撲』（唐戸山相撲協会）	1	個人
10月28日	『相撲三昧』第12号（相撲道研究会、2022年）	1	個人
10月28日	『第37回わんぱく相撲全国大会』 （日本相撲連盟・東京青年会議所、2022年）	1	東京青年会議所
11月１日	『サンデー毎日増刊11月19日号　NHK G-Media大相撲中継』 （毎日新聞出版、2022年）	3	NHKグローバルメディアサービス
11月１日	『相撲』11月号（ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
11月２日	『スポーツ報知大相撲ジャーナル』10・11月合併号 （アプリスタイル、2022年）	3	アプリスタイル
11月２日	『報知ガイドNo.201　2020大相撲力士名鑑』（報知新聞社、2020年）	2	報知新聞社
11月２日	『報知ガイドNo.204　2021大相撲力士名鑑』（報知新聞社、2021年）	2	報知新聞社
11月２日	『報知ガイドNo.207　2022大相撲力士名鑑』（報知新聞社、2022年）	2	報知新聞社
11月９日	『令和四年秋巡業　大相撲筑西場所』（大相撲筑西場所実行委員会、2022年）	2	大相撲筑西場所実行委員会
11月９日	『2022年秋巡業　大相撲甲府場所』（テレビ山梨、2022年）	2	テレビ山梨
11月９日	『令和四年大相撲秋巡業』（ランドマークエンターテイメント、2022年）	2	ランドマークエンターテイメント
11月11日	『朝日小学生新聞』（朝日学生新聞社、2022年11月８日）	2	朝日学生新聞社
11月14日	『大相撲九州場所　特別号外パノラマ』（日本相撲協会、2022年）	3	日本相撲協会
11月17日	『大相撲十一月場所』（日本相撲協会、2022年）	3	日本相撲協会
11月25日	佐藤克美編『佐藤家系譜』（2022年）	1	個人
11月30日	『令和四年秋巡業　大相撲桐生場所』（大相撲桐生場所実行委員会、2022年）	2	大相撲桐生場所実行委員会
12月１日	『相撲』12月号（ベースボール・マガジン社、2022年）	3	ベースボール・マガジン社
12月７日	『ハツタニュース』No.68（初田製作所・営業本部、1982年）	1	日本相撲協会

12月15日	『全国学生相撲選手権大会百年の歴史』（日本学生相撲連盟、2022年）	1	個人
12月19日	竹内誠『江戸を知る　江戸学事始め』（敬文舎、2022年）	1	敬文舎
12月19日	宮内澄夫編『「神舞・神相撲」資料集』 （八幡古表神社神相撲保存会、1985年）	1	八幡古表神社神相撲保存会
12月20日	平櫛田中『平櫛田中回顧談』（中央公論新社、2022年）	1	小平市平櫛田中彫刻美術館
12月20日	加藤大政『徳川四百年　日光道中栗橋宿は歴史の宝庫　五郎兵衛石の遺言　～関東の隠れキリシタン～』（2017年）	1	個人
12月20日	『令和４年冬巡業　大相撲出島メッセ長崎場所』 （NIB長崎国際テレビ、2022年）	2	NIB長崎国際テレビ
12月20日	『令和４年冬巡業　大相撲別府場所』 （大相撲別府場所実行委員会、2022年）	2	大相撲別府場所実行委員会
12月20日	『令和４年度冬巡業　大相撲長岡京場所』 （大相撲長岡京場所実行委員会、2022年）	2	大相撲長岡京場所実行委員会
12月20日	『令和四年大相撲冬巡業』（ランドマークエンターテイメント、2022年）	2	ランドマークエンターテイメント
12月23日	京須利敏・水野尚文（編著）『令和五年版　大相撲力士名鑑』 （共同通信社、2022年）	1	個人
12月26日	杉浦弘『壬午山ノート』⑦（2022年）	1	個人

相撲に関連するもののみ記載　寄贈52組（個人・団体）寄贈資料点数合計217点

（３）資料増減表

分類	令和３年度資料数	増	減	令和４年度資料数	備考
Ⅰ美術	4,909	2	0	4,911	
Ⅱ人形	599	0	0	599	
Ⅲ歴史	5,118	99	0	5,217	
Ⅳ番付	4,851	31	0	4,882	
Ⅴ勝負付	2,031	15	0	2,046	
Ⅵ星取表	2,593	30	0	2,623	
Ⅶ書籍	2,909	43	0	2,952	
Ⅷ雑誌	3,566	38	0	3,604	
Ⅸ新聞	1,397	0	0	1,397	
Ⅹ写真	7,746	1	0	7,747	
合計	35,719	259	0	35,978	

令和４年12月末日現在。令和４年度寄贈資料449点の内、259点を新規に登録した。

（４）デジタルアーカイブ化事業

新型コロナウイルス感染症拡大などにより進行に遅れが生じていたが、予定した全資料の撮影を終了した。今後は撮影画像の確認と資料目録との結びつけを行う。

令和２年に納品されたデジタルサイネージを、博物館展示室で10月６日・７日に特別公開した。タッチパネル式のため、新型コロナウイルス感染症の拡大により公開が遅れた。感染対策を徹底して公開した。

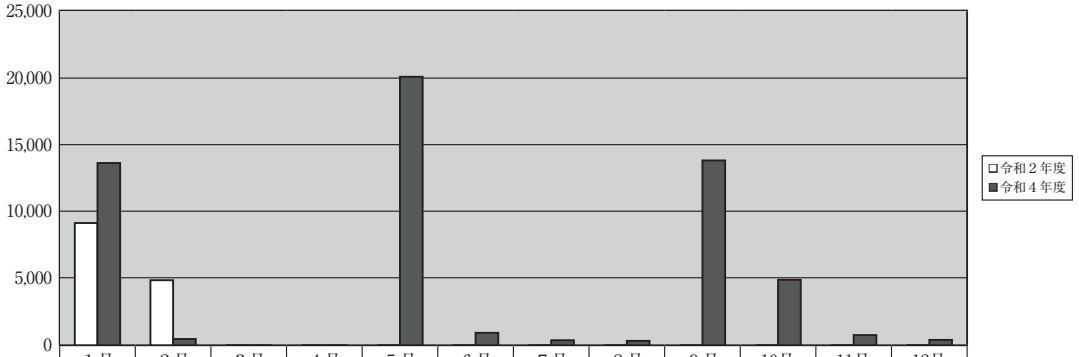
4．普及活動

（1）入館者状況

	令和２年度	令和４年度	増減
開館日数	42日	113日	＋71日
総入場者数 （内外国人入館者）	14,068人 （1,699人）	55,934人 （1,452人）	＋41,866人 （－247人）
本場所開催中 １日平均入場者	498人	996人	＋498人
本場所開催中以外 １日平均入場者	244人	164人	－80人

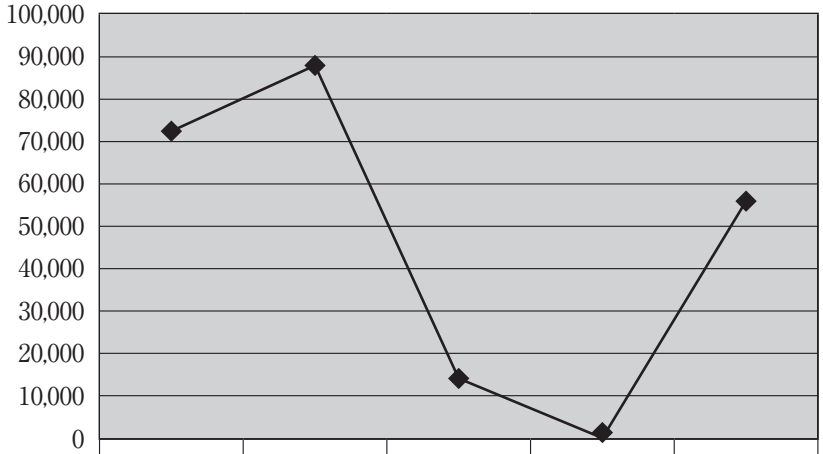
令和３年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため全日閉館。

令和２年度と比較した月別入館者数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和２年度	9,183	4,885	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和４年度	13,691	468	0	0	20,171	934	376	329	13,885	4,918	761	401

入館者数の推移（過去５年）



	平成30年	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年
入館者数	72,461	87,982	14,068	0	55,934

展示別の入場者

	展覧会名・開催期間	開催日数	総入場者	１日平均
1	特別展　69代横綱白鵬翔 １月９日（日）～２月５日（土） ５月８日（日）～６月24日（金）	55	35,264	641
2	本場所から本場所まで ７月11日（月）～８月10日（水）	22	705	32
3	特別展　71代横綱鶴竜力三郎 ９月11日（日）～10月３日（月）	18	15,505	861
4	特別展　白鵬・鶴竜・稀勢の里　三横綱 10月６日（木）～10月７日（金）	2	3,298	1,649
5	しこ名展 11月１日（火）～12月15日（木）	16	1,162	73
	計	113	55,934	495

１、３には開催日数に東京での本場所の期間が含まれる。

団体入場者一覧（20名以上）

来館日	団体名	所在地	人数
11月９日	―		27

（２）展示解説

依頼により展示解説を実施した団体は下記の２組である。

来館日	団体名	所在地	人数
７月15日	―	東京都足立区	7
９月19日	―	東京都墨田区	18

（３）問い合わせへの回答

電話、手紙などによる質問に回答を行った。手紙などで38件の問い合わせに回答した。

（４）講師の派遣

外部からの要請に応じて、当館学芸員が講師を務めた講座は下記のとおりである。

来館日	団体名・講座名	演目	担当者
８月23日	東京都・通訳ガイド育成事業 webセミナー	大相撲を楽しむ	土屋喜敬
10月26日	酪農学園大学付属とわの森三愛高等学校・ 修学旅行生相撲学習プログラム	相撲の歴史	土屋喜敬
６期	日本相撲協会相撲教習所教養講座（講義17回）	相撲史	土屋喜敬

相撲教習所での野見宿禰神社への奉仕活動、参拝の実施

相撲史の授業の一環で、２月・６月・10月の年３回、奉仕活動（清掃）、参拝を実施。







（５）資料の撮影・掲載

（撮影日順）

日付	主な撮影・掲載資料	点数	申請社（者）	使用目的及び掲載誌・番組
１月８日	博物館内展示風景	1	―	―
１月８日	博物館内展示風景	1	―	―
１月11日	日本相撲協会 訪ソ記念バッチ	1	―	―
１月28日	雷電為右衛門（春亭画）	1	―	―
１月30日	上覧相撲会場の図	1	―	―
２月21日	雷電為右衛門（春亭画）	1	―	―
３月３日	令和４年三月場所　番付表	1	―	―
４月25日	野見宿禰と当麻蹶速 対戦の図（恵所画）	1	―	―
４月25日	明治39年一月場所　星取表	1	―	―
５月11日	昭和16年一月場所　番付表	4	―	―
６月10日	大碇紋太郎（春斎画）	3	―	―
７月１日	相撲節会図	5	―	―
７月12日	東ノ方土俵入之図 （三代豊国画）	3	―	―
８月８日	博物館内展示風景	1	―	―
９月19日	博物館内展示風景	1	―	―
９月23日	博物館内展示風景	1	―	―
11月９日	博物館内展示風景	1	―	―
11月９日	博物館内展示風景	1	―	―
11月14日	対馬洋弥吉	3	―	―
12月16日	勧進大相撲八景 酒盛ノ図（国貞画）	2	―	―
12月20日	明治31年一月場所　番付表	1	―	―
12月27日	織田信長の上覧相撲 （藁谷耕人画）	1	―	―

計16社（個人・団体）撮影・画像提供点数合計36点

この他、館長取材４件、トークイベント取材109件、学芸員取材５件があった。

（６）資料の特別利用

相撲協会の商品化に伴う資料素材など　15件

（7）その他

・「相撲の神様　野見宿禰神社」授与所の設置

野見宿禰神社（墨田区亀沢2-8-10）の改修工事完了を機に展示室内に授与所を設置し、授与品（御守、合格御守、御札、勝守）の取扱いを開始。

（野見宿禰神社HP　https://www.sumo.or.jp/KokugikanSumoMuseum/nominosukune/）



野見宿禰神社案内リーフレット



展示室内の授与所（九月場所）



授与品